

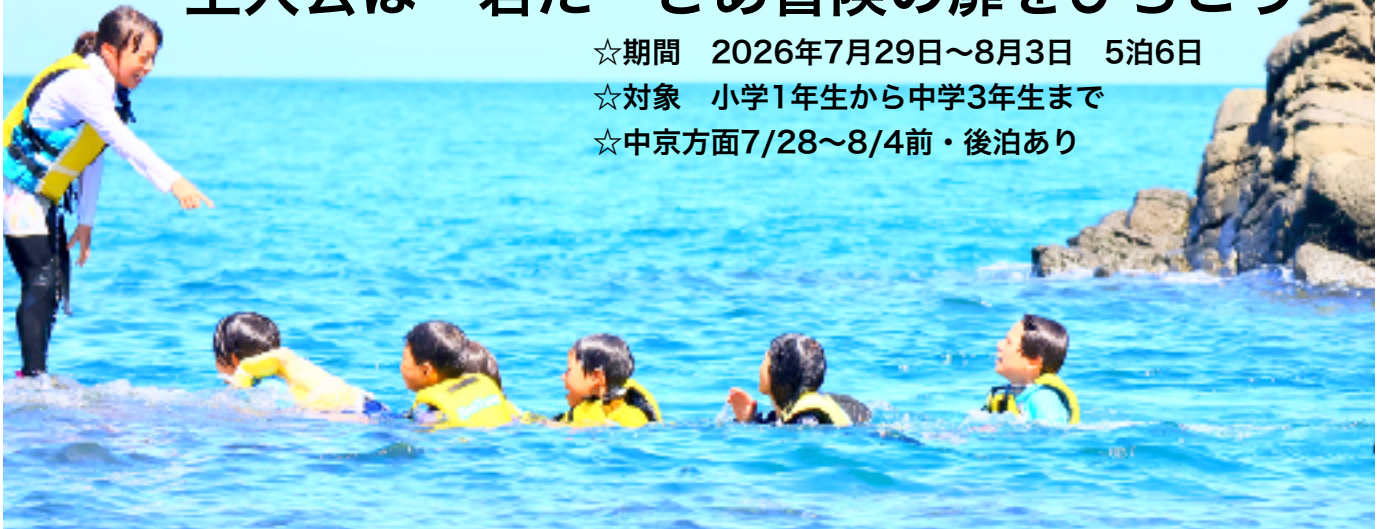
# 2026夏、新たな物語がはじまる。

## 主人公は、君だ。さあ冒険の扉をひらこう。

☆期間 2026年7月29日～8月3日 5泊6日

☆対象 小学1年生から中学3年生まで

☆中京方面7/28～8/4前・後泊あり



## 2026わんぱく海と仲間の楽校inおぐに

37年つづく、特別な夏がある。行き先は——山形・おぐに。  
山形県鶴岡市の小さな集落「おぐに」で、二年に一度だけ開かれる特別なキャンプ。



### ”おぐに”

このプログラムが始まってから37年もの月日が流れました。しかし、年月は経っても、小国集落の方は温かく出迎え、変わらぬ校舎が待っています。

海に山に川にと、とことん遊んで仲間と過ごす。一夏の掛け替えのない時間となることでしょう。



### おぐに`メインは海遊び・磯遊び

メインのプログラムは日本海での海遊びです。砂浜は少ししかありません。ですから海水浴というよりは、海遊び。遊ぶ場所は磯で大きな岩もあり、生き物が豊富。飛び込みもできます。水中メガネで海の中をのぞいているだけでも楽しいのです。あまり泳げない人も泳げる人も安全のためにライフジャケットを着用しておもいきり遊びます。(ライフジャケットはネイチャーセンターで用意します)

### おぐに`泊まる場所は木造校舎

生活の拠点は、地域の方々が「この校舎を残したい」という想いで守ってきた元小学校の木造校舎。自然の中で、仲間と共に生活する体験を大切にしています。夜はゲームやキャンプファイヤー、この木造校舎で生活を共にします。

木造校舎にはエアコンはありません。虫にも刺されるでしょう。海の岩場で、すり傷ができてみるかもしれません。日焼けが痛いかもしれません。いっぱい遊んで疲れる人もいるでしょう。でもなぜかもう一度行きたくなるところ、2026年今年の夏、忘れられない数日間を——おぐにで。



## おぐに` 地元の人との交流

### 小国弓 豚の丸焼き

今回、地元の方に教えてもらうのは小国弓、小国弓は弓道とは違い、長い年月小国に伝わってきたもので、いくさの時の実戦に即した姿勢で射てみます。さらにこの小国は旧温海町(現在鶴岡市)だったのですが、温海町特産のあつみ豚を地元の人と一緒に、丸焼きにして食べてみます。このほかにもいろいろな場面で小国の方にご協力していただき小国キャンプは行われています。



## おぐに` 仲間と過ごす大切な時間

縦割りのグループで生活をします。様々な地域から来ている人とも仲間になれるよう、プログラムを組んでいきます。活動日は海にでかけ、帰りぎわに清流で遊びながら塩を流します。夕方は野外料理をして夜のプログラムをします。夜のご飯はグループで調理をします。料理もプログラムのひとつ。自分たちで食べるごはんは自分たちでつくります。

またグループで食事をつくることで仲間の得意なことや苦手なことがみえてきたり、協力することの大切さを学べたりもできます。それが別の活動やグループ形成にも活きてきます。



## 自然の中で育つ「たしかな体験」を、

### この夏に。

プログラムの中心は、日本海での海遊び。磯での活動が多いため、全員ライフジャケットを着用し、スタッフが安全管理を徹底したうえで行います。泳ぎが得意でないお子さまも、無理なく楽しめる内容です。

食事はグループでの野外調理。「自分たちで作り、食べる」経験を通して、協力すること、役割を果たすこと、仲間を思いやる気持ちが自然と育まれていきます。

また、地元の方との交流もこのキャンプの大きな特徴です。

伝統文化「小国弓」や、あつみ豚の丸焼きなど、地域に根ざした学びが、子どもたちの心に深く残ります。

不便さもあります。しかしその中で、子どもたちは「自分で考える力」「人と関わる力」を無理なく、確かに身につけていきます。自然・人・生活が一体となった数日間。この夏の体験が、子ども達の成長の一步となることを願っています。

